



菊川市議会だより

議会のひろば

2026.8.20 No.87

今月の
特集

躍進を続けるチームの強さに迫る!
しずおか市町対抗駅伝菊川市チーム
監督・コーチインタビュー

特集 P01
6月定例会概要 P03
一般質問 P05
みんなの声 P12
きかせてパパママの声他 P15



菊川名物夜店市

菊川市ホームページ
市議会のページは
こちらから



躍進を続ける
チームの強さに迫る!しずおか市町対抗駅伝菊川市チーム
監督・コーチインタビュー

毎年12月に開催される静岡県市町対抗駅伝競走大会。今年は12月5日土曜日に第27回大会が開催されます。第24回大会11位、第25回大会9位、そして昨年の第26回大会は8位と、順位・タイムともに躍進を続ける菊川市チーム。市民の期待が高まるなか、強さの源泉と今後の課題について、北原監督と宮城昂祈コーチにお話を伺いました。

〈今年の菊川市チームの雰囲気や特徴を教えてください〉

北原監督 昨年一生懸命練習した選手が大勢残ってくれたことに加え、コーチを含めた新しいメンバーも数多く参加してくれています。皆さん非常にやる気があり、結束力も強く、とても良い雰囲気の中で集中して練習ができています。



〈良い雰囲気を作り出し、全員の気持ちを一つにする秘訣は何ですか〉

北原監督 今年のチーム目標である「考え、学び合い、共に成長し続ける菊川市チーム」に全員の心を集中させることです。また、なかなか練習に集まらない高校生や一般選手の多くは、小学生時代から地元のスポーツ少年団やアプロス菊川に所属しており、当時の指導者が現在の駅伝コーチも兼ねています。長年培われた深い信頼関係があるからこそ、離れていても全員が心をついてできています。

〈駅伝という競技を通して、子どもたちや若い世代に伝えたいことは何ですか〉

北原監督 駅伝はチーム競技です。仲間と競い合い、励まし合い、共に高め合うなかで、走力だけでなく人間としても大きく成長してほしいと願っています。こどもの頃に指導を受けた選手が、成長して今度は指導者として地域に恩返しをしています。

委員 好循環。地域に根ざしたスポーツのSDGsですね。



菊川市チーム・掛川市チームの合同練習

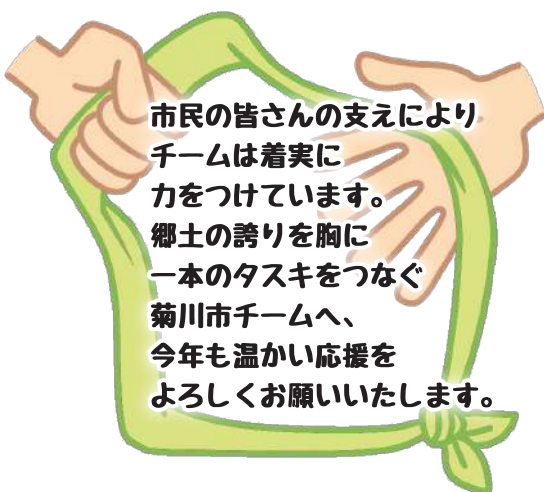


〈指導方法において、強い選手を育成するために大切にしている点はどこですか〉

宮城コーチ こどもたち二人ひとりに極力寄り添い、指導者との間に壁を作らない環境づくりを徹底しています。相手の性格に合わせた前向きな声掛けを行うことが大切です。また、大会メンバーの選考については、感情を入れず、曖昧な基準を排して「タイム（実力主義）」に絞っています。誰が見ても納得できる公平な選考を行うことで、選手が明確な目標を持って努力できるようになっています。

〈最後に、さらなる競技力向上のために市や議会への要望はありますか〉

宮城コーチ 条例によるグラウンドの使用時間が19時30分までと限られている点です。練習時間の確保が難しく、仕事や学校帰りに集まって練習しています。現在は夜間照明がないため、暗い場所にハンディライトを置いて練習しています。今後、部活動の地域展開が進むなか、こどもたちの意欲に応えるためにも「使用時間の見直し」や「夜間照明の充実」を強く望みます。また、選手からは「グラウンド横のトイレの老朽化や故障が放置されており、衛生面で安心して利用しにくい」という声も上がっており、安心して練習に打ち込める施設環境の整備もお願いしたいです。



市民の皆さんの支えにより
チームは着実に
力をつけています。
郷土の誇りを胸に
一本のタスキをつなぐ
菊川市チームへ、
今年も温かい応援を
よろしくお願いいたします。

〈取材協力〉

コーチ 宮城 昂祈さん
監督 北原 弘明さん
菊川市スポーツ協会
副会長 横山 正美さん
コーチ 宮城 葵さん（写真右から）



しずおか市町対抗駅伝
菊川市チームのみなさん
ご協力ありがとうございました。

議案 27件

報告 3件

会期／25日間
令和8年6月1日～6月25日

概要

6月定例会
審議結果

賛否が分かれた議案等一覧表

議案番号	議案名	結果	本田 高一	黒田 茂	松永 晴香	白松 光好	奥野 寿夫	藤原万起子	石井 祐太	渡辺 修	須藤 有紀	東 和子	坪井 仲治	織部ひとみ	織部 光男	小林 博文	山下 敦基	山下 修	赤堀 博
議案第44号	専決処分の承認について (菊川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ※議長(赤堀 博)は採決に加わらない。

すべての議案名および審議結果は菊川市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

6月定例会の会期中に開催された委員会では、下記のとおり事前質疑が提出されました。

	頁数	総務建設委員会									教育福祉委員会								
		黒田 茂	白松 光好	藤原万起子	石井 祐太	渡辺 修	東 和子	坪井 仲治	織部ひとみ	赤堀 博	本田 高一	松永 晴香	奥野 寿夫	須藤 有紀	織部 光男	小林 博文	山下 敦基	山下 修	
議案第48号 令和8年度菊川市一般会計補正予算(第1号)	42	9	3	6	7	10	6	4	—	2	7	3	5	7	0	4	5	8	
合 計		9	3	6	7	10	6	4	—	2	7	3	5	7	0	4	5	8	

※織部ひとみ議員は監査委員のため、委員会・分科会への質疑は控えています。

委員会・分科会への
事前質疑提出状況

Q コミュニティ助成事業費について、2自治会申請のうち東嶺田自治会分が不採択となった決定通知の時期と、不採択について予見できなかったのか。

A 令和8年度に実施するコミュニティ助成事業は、令和7年9月に菊川市から県地域振興課を通じて、一般財団法人自治総合センターに申請し、令和8年3月に1事業を採択するとの決定通知があった。このコミュニティ助成事業の採択基準や事業費の規模などは自治総合センターから示されていないため、今年度何件採択されるかについての予測は難しい状況であるが、令和6年度までは2件採択されていた実績があるため、優先順位2番目の自治会に対しては不採択になる可能性が高いことを説明したうえで、申請をあげてもらっている。ただし、自治総合センターのコミュニティ助成事業の全体の事業費が年々減額しているとの情報もあり、ここ数年の県内市町の採択状況についても、1市町につき1事業のみ採択されている傾向にあるため、今後の自治会からの要望への対応については、年1件しか採択されない状況を踏まえ、順番に申請していくと実際に申請できるのは20年ほど先になってしまう状況は説明する必要があると考えている。



〈執行部回答後の議員意見〉

コミュニティ助成事業費は祭典の山車の修繕等に使われていることが多いと思うが、コミュニティ助成事業費が期待できなくなった場合には、菊川市が各自治会の祭典の維持に關して考慮してほしい。

コミュニティ助成事業費が減額されるのであれば、1件当たりの補助額を減らして複数の自治会に補助金を支給する事も考えてほしい。

Q 地域農業構造転換支援対策事業補助金を利用する新規事業の詳細は。

A 国の補助事業である地域農業構造転換支援対策事業は、地域の中核となつて農地を引き受ける担い手の経営改善を支援するため、必要な農業用機械、施設の導入等に対し補助金を交付するものである。国の補助率が10分の3、事業者の自己負担が10分の7で、市の負担はない。応募できるのは地域計画に位置付けられた農業者で、事業活用から3年度目までの経営面積の拡大、付加価値額の拡大、労働生産性の向上のいずれか1つの成果目標の選択が必要となる。今回の補正における事業活用者は、掛川市の丸山製茶株式会社で、月岡地内と上平川地内の農地を対象として事業を行う。

〈執行部回答後の議員意見〉

農業経営基盤強化推進費は、市内の方に活用してもらいたい。

国や県、行政の補助金の活用は、大規模にやっている方は申請に慣れているが、個人の方は意欲のある方でも申請が難しいと途中で諦める方がいると思うため、行政が寄り添って申請しやすい環境をつくってほしい。



Q 母子健康事業費について、思春期教育の内容及びどのような講師が行うのかを伺う。また、22回の講座はどのようにして行うか、学校との連携は。

A 思春期教育は、自分や相手の命が尊いものであること、自分がどのように育ってきたのか、親の子どもへの思いなどを知ることにより、思春期である自分の心や身体の変化を感じる機会を提供し、児童・生徒一人ひとりが自分への理解を深め、自他ともに大切にできる心を育むことを目的に、市内全小学校の2年生、4年生、中学生全学年に対して、発達段階に応じた内容で実

施している。小学生では助産師、中学1年生では菊川市立総合病院勤務の助産師、中学2年生では市の保健師、中学3年生では産婦人科医師を講師として実施している。今回計上した22回の詳細は、小学生を対象に助産師が実施する講座分である。昨年度までは、静岡県看護協会からの派遣という形で菊川市立総合病院の助産師に依頼し実施していたが、助産師の減員により例年通りの派遣が困難となった。静岡県看護協会を介さず、新たに講師を依頼する必要が生じたため22回分の講師料を計上した。学校との連携については、市内小中学校の校長会において事業の協力依頼を実施し、養護教諭、産婦人科医師、助産師及び市の保健師が年数回の打合せを実施している。

〈執行部回答後の議員意見〉

岳洋中学校で本事業が実施され、生徒たちが赤ちゃんの人形を抱えている写真がきずなネットで配信された。小学2年生、4年生では、生まれた時の写真を持つてくるよう学校から依頼があり、それをきっかけに家庭内でも「あなたが生まれたときは

ああったよ、こうだったよ」という家族間の会話が広がった。個人的には良い事業だと感じている。

性の多様性やデートDVなど、中学生も巻き込まれる問題がいろいろあるので、性の自認に関する教育も含めて早期実施が必要だと思う。



一般質問

議会の映像配信をご覧いただくには



一般質問とは？

議員が地域住民に密着している事項や市の施策について、状況確認や今後の方針について説明を求めるため質問を行います。また、市への政策提言を行うこともあります。

質問議員：12名

※議員名の下の()は、所属する会派または政党を示します。



本会議の生中継や録画映像をインターネットにより配信していますので、ぜひご覧ください。また、会議録はホームページ、市役所4階議会図書室、菊川文庫、小笠図書館で閲覧できます。(令和8年6月定例会の会議録は準備出来次第となります)



一般



菊川市防災強靱化に向けて

坪井 仲治 (みどり 21)

動画は
こちらから



菊川市の災害対策の強化に関するこれからの施策について質問した。

Q 熊本地震では、被災者の手元に物資が届かない「ラストワンマイル問題」が露呈したが、菊川市の支援物資受入れや輸送の体制は。

A 作業手順とマニュアルの見直しを行うとともに、物資搬送する車両と人員、仕分けに要する人員の確保などの課題解決に向け、関係団体との協議や情報交換を続けていくことで、顔の見える関係性と支援体制の構築を図っていく。

Q 大規模災害時の車中泊避難者のスペース確保と、車中泊エリアの管理や支援の体制は。

A 避難者の車中泊エリアとして指定している箇所はないが、市と避難所運営委員会が連携して、指定避難所敷地内の利用可能な場所を車中泊エリアとして指定するよう想定している。プライバシーの確保や感染症リスクの軽減を目的に、車中泊

避難を希望される方が増加することも想定され、ほかにも車中泊エリアが必要と考えるため、災害協定を締結している市内企業に駐車場の借用や食料の提供などのご協力をいただき、車中泊エリアの確保に努めていく。

Q 「防災道の駅」の可能性は。

A 菊川市には道の駅がなく、防災道の駅に位置づけられる施設はないため、可能性の調査を進めていく。





菊川市の魅力を外へとつなぐ挑戦

松永 晴香（みどり 21）

動画は
こちらから



菊川市において、現在進めている事業承継や人材確保の支援に加え、市内事業者が外へ向けて挑戦しやすい環境を整えることは、事業者の成長支援を進めることになり、結果として菊川市の魅力発信、来訪促進、関係人口の拡大、ひいては地域経済の活性化や税収確保にもつながる可能性がある。市内に店舗や事業所を有する事業者が、市外や県外のイベント、物産展、催事等に出席する際の支援について、個店の販路拡大にとどまらず、菊川市のポテンシャルを引き出し、魅力発信や地域経済の活性化につながる施策として検討できないか質問した。



住みたいまちにつながる将来性や可能性を想定している。

Q 菊川市の事業者の技術力や商品力、発信力、もっといいものをつくっていいこう、外へとそれを販売していいこうという挑戦する力もその一つではないかと考えるが、市の認識を伺う。

A 市民の力というのもポテンシャルではないかと考えている。

Q 本市において、市内事業者が市外や県外のイベント、物産展、催事等へ出席する際の支援制度を検討できないか伺う。

A 全国にはお金をかけない好事例があると思うので、情報収集をしていく。



公共施設の電気使用量削減

西下 敦基（市民ネット）

動画は
こちらから



Q リースを活用したLED化事業について、サービス事業者の資料では、電気使用量削減率は約64%から78%、投資回収は約4年から9年と試算がされている。CO2削減も進むこととなり、本市の導入の検討は。

A 現在工事を進めている市役所本庁舎や、既に工事が完了した消防本部などの施設は、導入方法や活用可能な財源を比較検討した結果、照明設備を購入する自己保有方式によるものとしている。これまで規模の大きな施設のLED化を進めてきたが、未整備の箇所が残されており、これらの施設も補助金など有利な財源の活用と併せて導入方法を検討し、財政負担の平準化を図りながらLED化の早期完了を目指していく。

Q 空調の自然冷媒ガスへの交換について、幅広い空調システムに適応がされ、費用については電気料金の削減分のみで導入費用を賄い、追加の負担がなく導入することも可能となっているが、導入の検討は。



A 既存の空調機器に指定外の冷媒ガスを充填する冷媒交換については、安全性の確保や市有財産の適正管理という観点から、現時点において本市で導入することは考えていない。今後、技術の向上などで、自然冷媒ガスの利用可能な機器が普及した場合には、空調機器の更新を行う際などに、費用対効果と併せて導入の可能性を検討し、既存機器よりもエネルギー効率が悪れた空調を導入するなど、脱炭素化の取組を推進していく。

他に「計画策定業務の見直し」について質問しました。



道路整備計画の現状と今後の方針について

白松 光好（みどり 21）

動画は
こちらから



菊川市の道路整備の今後の方針と計画について質問した。

◎ 菊川市の道路整備計画で今後北側エリアの整備計画についての取組姿勢は。

▲ 菊川市都市計画道路整備プログラムに基づき、未着手となっている西方高橋線の北工区の事業化を目指していく。

◎ 西方高橋線北工区の今後の具体的な工事と取組について。

▲ 主要地方道掛川浜岡線バイパスの一部として事業化を目指している。現在、菊川・掛川両市をまたぐ区間について道路勉強会を重ねており、事業化に向けて調整していく。

◎ 西方高橋線北工区の開通が市内の渋滞緩和に効果があると考え、市の見解は。

▲ 西方高橋線北工区が開通した時、並行する現道の交通分散効果と、広域的な幹線道路ネットワーク形成により市街地に流入する通過交通を迂回させる効果があり、周辺道路

の交通負荷が低減し渋滞緩和に効果をもたらすと考える。

◎ 菊川市は、今後どのように道路整備を考え具体的に計画していくのか。

▲ 道路は市民生活や経済活動を支える重要な都市基盤であり、今後の整備については、社会情勢の変化を的確に捉え、効果的かつ計画的に進めていく必要がある。市としては、将来にわたって安全・安心で活力あるまちの実現に向け、整備すべき道路をしっかりと見極め、計画的な道路整備を進めていく。

他に「犯罪被害者等支援対応」について質問しました。



健康づくりの推進について

本田 高一（菊川ゆめ未来）

動画は
こちらから



菊川市においても行政がきっかけづくりを担い、その後の継続的な活動については地域の受け皿へ繋げていくという役割分担のもと、施策を有機的に連携させていくことが重要であると考える質問した。

◎ 社会教育課、長寿介護課の健康関連事業について、役割分担や連携をどのように認識しているか。

▲ 社会教育課は市民が運動に親しむきっかけづくり、長寿介護課は介護予防事業を担っている。社会教育課と健康づくり課においては、体力測定会や健康チエックの日を共同開催し連携を進めている。

◎ 各種健康スポーツ教室終了後の継続的な活動への接続について、どのように充実を図っていくか。

▲ 各種教室終了後の受け皿となる地域団体の情報の収集や提供に努め、市民の継続した活動につなげていく。

◎ 地域スポーツ活動の持続的な運営について、現状の課題と今後の方向性をどのように考えているのか。

▲ 担い手不足などの課題を踏まえ、スポーツを通じた地域づくりを進め、ニュースポーツの普及等を通じて、地域スポーツ活動の継続的な運営を支援する。

◎ 医療・介護予防・スポーツ・多世代交流を一体的に捉えた「健康都市」の実現に向けた庁内横断的な取組をどのように進めていくか。

▲ 庁内横断的な連携を深め、市民団体など多様な主体との共創の取組を進めていく。





南海トラフ地震など災害への対策

奥野 寿夫（日本共産党）

動画は
こちらから



東日本大震災では3810人

の方が「災害関連死」で亡く

なり、熊本地震でも災害関連

死が「直接死」を上回る228

人（約8割）、能登半島地震で

も「直接死」を上回る503

人の方が亡くなっている。能登

半島地震では、石川県だけで

8108棟の住家が全壊し、災

害関連死を除く死因の約4割

が「圧死」、約2割が「窒息・

呼吸不全」で、多くの人が倒

壊した建物の下敷きとなったと

みられている。南海トラフ巨大

地震など自然災害への対策につ

いて質問した。

Q 避難者の想定数とトイレ

の備蓄数がスフィア基準（人道

憲章と人道対応に関する最低

基準）を充足しているかどう。

A 発災1週間後の避難者想

定数である1万6814人に対

して、現状の備蓄数はスフィア

基準の約2倍となる670台と

なっている。今後とも備蓄や受援

体制により、十分なトイレの確



能登半島地震で倒壊した建物
（「しんぶん赤旗」提供）

Q 住宅の耐震補強工事を進

めるために、申請者が工事費

をいったん全額用意する必要が

なく、施工業者に補助金の請

求や受領を委任する「代理受

領制度」を導入する考えはな

いか。

A 申請者の一時的な負担を

軽減できることから、耐震補強

を推進していくための有効な制

度であると考えるので、他市の

事例を参考に本制度の導入に

向けた検討を進める。

他に「菊川市職員の時間外

勤務、休暇取得の状況」につい

て質問しました。



頑張る職員が活躍できる市役所を

渡辺 修（みどり 21）

動画は
こちらから



「公務員は安定している」と

いう常識が通用しない時代で、

頑張る職員が活躍できる市役

所を目指すため質問した。

Q 特定の職員に業務が集中

している実態について、市はど

のように把握し、適正配置に

向けてどのような取組を行って

いるか。

A 時間外勤務の状況や勤務

状況調査、勤務意向調査など

を踏まえ、各部署の適正な人

員配置に努めているが、退職者

や休職者などの影響により業務

の平準化に資する職員配置には

至っていない。

Q 業務が特定職員に属人化

している状況に対し、複数職

員による業務共有・分担体制

の現状と今後の方針は。

A 主担当のほか副担当を配

置し、複数職員による業務分

担に取り組んでいる。全ての業

務で複数体制を取ることは難し

いが、知識の継承や課内・係

内での業務ローテーションを行

い、行政サービスが低下しない

よう取り組んでいく。

Q 職員の意欲向上や人材確

保に向けた取組は。

A 令和6年度実施の採用試

験から社会人経験者採用を導

入し、即戦力人材の確保を進

めている。また、本年度は人材

育成基本方針の改訂を予定し

ており、組織力と行政サービス

の向上につながるよう見直しを

行う。

他に「年金制度改正に伴う

社会保険制度拡大とインボイス

制度特例終了が市内小規模事

業者に与える複合的影響と経

営支援」について質問しました。





市内中学校の学力について

須藤 有紀（みどり 21）

動画は
こちらから



◎ 中学校教育における学力の重要度と指導方針、また、市内学力調査テスト結果分析は。

◎ 中学校教育における学力の育成は、生徒の将来の可能性を広げ、自己肯定感を高める人格形成の基盤となる。人口減少社会における生産性の向上や社会の維持にも直結する、極めて重要なものと捉えている。全国学力・学習状況調査の分析の結果、特に数学の記述式問題や理科の探究的な振り返りなどで、根拠を基に説明する力が着実に向上していることが分かった。

◎ 課題は。

◎ 国語、数学等で読解の部分も上昇傾向にあることは把握している。課題点があれば学校に働きかけていく。

◎ デジタル端末を低学年から使用させる必要性があるのか。

◎ 学校生活で日常的にICT機器を文房具の一つとして活用することを重視している。デジ

タルとアナログをバランスよく融合した魅力ある授業を展開していく。

◎ プロ野球元監督の問題もあった。常識や判断力を身につけたうえで、AIを活用していく情報リテラシー教育は。

◎ AI活用は今年度から利用可能となる。菊川市では、生成AI利用ガイドライン及び指導の手引を整備している。

他に「菊川市職員の仕事環境」について質問しました。



地域資源を活かす健康施策

藤原 万起子（市民ネット）

動画は
こちらから



◎ 県が昨年度公表した「お達者年齢」で、菊川市は男性2位、女性11位だった。近年は、健康で生きがいを持ち、地域で活躍できる期間を延ばす「ロンジェビティ」の考え方が注目されている。地域資源を活かし、健康寿命の延伸と地域活性化を一体的に進めることが重要と考え質問した。

◎ 健康寿命の延伸のため、市民の健康づくりに取り組んでいるか。

◎ 自身や家族の健康を意識した行動変容や疾病予防につながるよう働きかけている。

◎ 静岡ウェルネスプロジェクトについて、深蒸し茶、農業、食、地域フィールドなど強みをどのように活かしていくか。

◎ 県が産学官金連携プラットフォームとして「静岡ウェルネスフォーラム」を昨年度立ち上げ、市も加入した。地域資源を活かした事業の創出や高付加価値化など、静岡ウェルネスプロジェクトと連携し、地域活性

化や産業振興に取り組んでいく。

◎ 県が進める健康寿命延伸やウェルネス関連施策、ロンジェビティの考えを、今後のまちづくりにどのように活かしていくか。

◎ 健康寿命の取組は、福祉施策だけでなく、これまでの施策を進化、発展させ産業や観光などと連携し、一体的な取組により魅力と活力あるまちづくりを進める。全国トップクラスの健康なまちをPRし、菊川市や深蒸し菊川茶のイメージ向上や、心身とも健康で若々しくられる期間を長くする「ロンジェビティ」の視点を踏まえ、産業振興や交流人口の拡大につなげていく。

他に「大規模災害時のし尿・汚物処理計画」について質問しました。



出典：静岡県ホームページ



市内経済と行政運営について

黒田 茂（菊川ゆめ未来）

動画は
こちらから



物価高騰や人手不足、原材料費や金利の上昇など、景気停滞と物価上昇が同時に進む「スタグフレーション」が懸念される。市内企業や市民生活への影響を踏まえ、本市の現状認識と今後の対応について質問した。

◎ 中小・零細企業を中心とした市内景気の現状をどのようにに認識しているか伺う。

▲ 製造業では一部回復の動きが見られるが、非製造業では物価高や人件費の上昇により悪化している。人材確保が困難な状況や原材料費の高騰など先行きは不透明であり、引き続き注視していく。

◎ 金利上昇が市内企業へ与える影響を伺う。

▲ 借入依存度の高い中小企業では、金利上昇により資金繰りが厳しくなり、設備投資や事業拡大に慎重となる可能性がある。

◎ ナフサショックで建設資材不足の現状である。市内大型

事業の事業費や工期に影響を及ぼすと考える。災害対策本部棟及び堀之内体育館一体整備事業の事業費と工期についての契約内容を伺う。

▲ 建設工事請負契約約款において、「特別な要因により主要な工事材料の日本国内における価格に著しい変動を生じ、請負代金額が不適当となったときは、請負代金額の変更を請求できる」、「受注者の責めに帰すことができない事由により工期内に工事が完成できないときは、発注者に工期の延長変更を請求できる」と定められている。

他に「教育現場における熊出没対応」について質問しました。



広報菊川4月号で考えること

織部 光男（無所属）

動画は
こちらから



広報菊川4月号では、施政方針の抜粋と基本的な取組、主要事業として22の事業紹介がある。その中の地球温暖化対策の推進では、温室効果ガス削減目標の見直しが挙げられている。

◎ 生ごみの再利用化は何年後になるか。

▲ 処理施設の設置については、設置候補場所の地域住民への理解を得ることや設置費用の捻出など、多岐にわたる課題解決が必要であり、資源化するには相当の時間を要するものと認識している。

◎ 令和8年度予算大綱の歳入歳出一般会計235億9800万円が記載されている。自主財源が45%の106億2897万円、依存財源は55%である。新たな財源を創り出すと取組にあるが、目標金額は。

▲ 企業版ふるさと納税については目標金額を設定していないが、ガバメントクラウドファンディングは1事業当たり

100万円、ふるさと納税は2億2000万円を目標金額として設定している。

◎ 市長在任中の財政力指数低下は何が要因と分析しているか。

▲ 令和3年度から本市の財政力指数は低下しているが、これは基準財政収入額が減少したためではなく、基準財政需要額が増加したことによる。理由は、令和3年度以降、国において地方が必要とする経費として新たな項目を追加したことによるものである。





有害鳥獣対策について

石井 祐太（みどり 21）

動画は
こちらから



近年、全国で熊をはじめとする野生鳥獣の出没が増加しており、市街地や通学路周辺での被害も発生している。市民や子どもたちの安全を守るため、本市の有害鳥獣対策や今後の体制整備について質問した。

Q 本市における有害鳥獣被害の現状と課題をどのように捉えているか。

A イノシシやシカなどによる農作物被害が発生しており、継続的な対策が必要と認識している。

Q 熊などの大型獣が市内で確認された場合、どのように対応するのか。

A 警察や関係機関と連携し、注意喚起や安全確保を行うとともに、状況に応じて必要な対応を実施する。

Q 防護柵設置補助制度の評価と今後の支援は。

A 被害防止に一定の効果があり、制度を活用しながら被害軽減に取り組んでいく。

Q 出没情報を地域住民へどのように共有していくのか。

A 関係機関と連携しながら、速やかな情報提供と注意喚起を行う。

Q 猟友会の高齢化や人員不足への対応は。

A 担い手不足は課題と認識しており、狩猟免許取得支援などを通じて人材確保に取り組んでいく。

Q 有害鳥獣捕獲体制をどのように維持していくのか。

A 若手狩猟者の育成や猟銃保持者への支援を含め、持続可能な捕獲体制の確保に努める。



議会豆知識

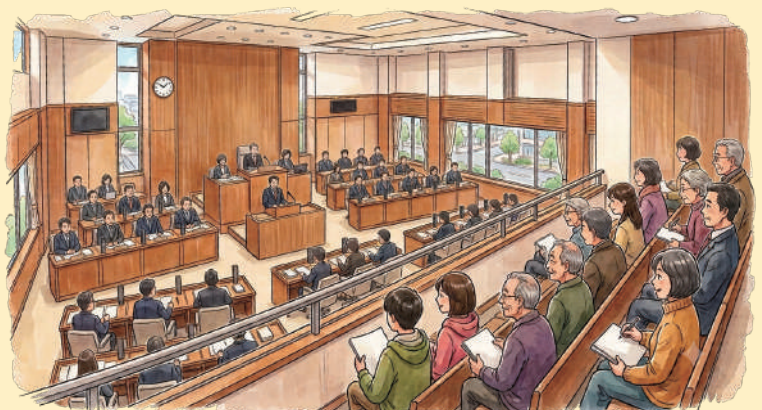
～議会の傍聴って、予約が必要?～

菊川市議会の本会議は、どなたでも傍聴することができます。

事前予約は必要ありません。当日、市役所本庁 4 階の議会事務局で受付をし、傍聴券の交付を受ければ入場できます。会議の途中で入場したり、退場したりすることもできます。

傍聴席の定員は 26 人で、このうち 2 人分は車椅子利用者用です。団体など大人数で傍聴する場合は、事前に議会事務局へご連絡ください。

菊川市議会では市民の皆さまに議会への関心を持っていただけるよう、開かれた議会を目指しております。市の予算や条例、暮らしに関わる課題について、どのように議論が行われているのか、ぜひ一度傍聴にお越しください。



令和7年度政務活動費収支報告

「政務活動費」とは…議員が行う調査や研究、その他の活動に資するため必要な経費の一部を交付するもので、菊川市では議員1人当たり年額10万円を限度に、会派及び会派に所属していない議員へ申請に基づき交付しています。

項目	会派名	みどり21	市民ネット	菊川ゆめ未来	織部光男 議員	奥野寿夫 議員	石井祐太 議員	合計
収入	交付額	1,000,000	200,000	200,000	100,000	100,000	100,000	1,700,000
	雑収入	989	154	0	0	0	0	1,143
	計	1,000,989	200,154	200,000	100,000	100,000	100,000	1,701,143
支出	調査研究費	303,370	0	0			0	303,370
	研修費	390,270	117,110	96,540	95,820	28,080	0	727,820
	広報費	199,980	83,044	102,140	0	71,370	0	456,534
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0
	要請陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	0	0
	資料購入費	0	0	0	2,200	0	0	2,200
	人件費	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0	0	0
	その他の経費	1,760	0	1,320	1,980	550	0	5,610
	合計	895,380	200,154	200,000	100,000	100,000	0	1,495,534
残余金		105,609	0	0	0	0	100,000	205,609

※残余金については、市に返還済みです。

(単位:円)

みんなの声

もれなく菊川市議会特製
“きくのんクリアファイル”
をプレゼント!!

●メール

gikai@city.kikugawa.shizuoka.jp

●FAX

(0537) 35-2116

●郵送先

〒439-8650
静岡県菊川市堀之内 61 番地

※議会への要望や意見なども受け付けています。
※クリアファイルの郵送のため、住所と連絡先も
記載ください。

メール送信は
こちらのQRコードを
読み取ると便利です。



「議会のひろば」を
読んだ感想やご意見を
お寄せください!



傍聴者より

今回初めて傍聴しました。市、議会共に市を良くしようとの目標を持って議論をしているのが分かりました。

傍聴者より

一般質問を傍聴させて頂きました。職員が働きやすくする為の考えや、子どもの教育方針を知ることが出来ました。菊川市といえばお茶ですが、お茶を飲む程、幸福感が上がることも知りました。今後は、市議会議員の担い手を増やすよう活動をして欲しいと思います。

12 菊川市議会だより 議会のひろば

レポート

静岡県立小笠高等学校

議会報告会

4月13日に静岡県立小笠高等学校において、高校2年生を対象に議会報告会を開催しました。

「人口減少を考える」をテーマに、取り組むべき内容とそのアプローチ方法について説明し、「住み続けたい、帰ってきたいまちってどんなまち？」をテーマに意見交換を行いました。



高校生を対象とした議会報告会の取組は初めての試みでしたが、小笠高校が行っている地域探究の取組につながる事ができたのではないかと思います。



小笠高校の生徒の皆さま、関係者の皆さま、この度は貴重なお時間をいただきありがとうございました。

「見える議会・開かれた議会」をめざして議会報告会を開催し、令和7年度の議会活動の報告と、地域の皆さまとの意見交換を行いました。

議会ふれあいミーティング「語ら座あ」

【報告内容】

- ・菊川市議会の概要
- ・予算決算審査結果
- ・委員会活動報告
- ・意見交換

「菊川市の10年後をどうするか？」

◆残すもの

◆変えるもの



参加者の皆さまからは、議会活動や行政に対し、たくさんのご意見をいただきました。ありがとうございました。

いただいたご意見・ご提案は、集計・分析を行い市議会のホームページなどで公表するとともに、今後の議会活動に活かしてまいります。

議会報告会での説明内容の動画はこちらから



菊川市議会報告会





議会活動

常葉大学附属菊川高等学校 議会報告会



7月8日に常葉大学附属菊川高等学校において、2年生を対象に議会報告会を開催しました。

「菊川市の仕事」「くらし・子育て」「安全と公共資産」の3つをテーマに、菊川市の未来について考えました。

グループワーク終了後、発表を行い、最優秀賞の発表と表彰を行いました。

高校生を対象とした議会報告会の取組は小笠高校に続いて2回目でしたが、たくさんの方のアイデアを聞くことができ、議会としても実りのある報告会となりました。



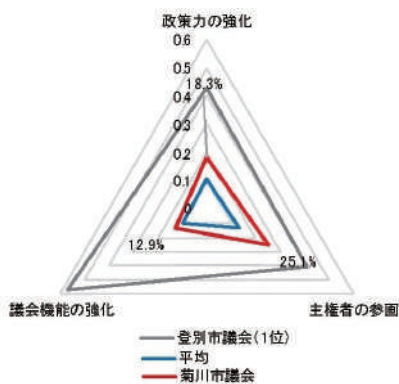
常葉大菊川高校の生徒の皆さま、関係者の皆さま、この度は貴重なお時間をいただきありがとうございました。



地域経営のための 議会改革度調査 2025

早稲田大学デモクラシー創造研究所が発表した「地域経営のための議会改革度調査2025」で、菊川市議会は全国総合123位（前年度99位）、静岡県内5位（前年度6位）との評価を受けました。

菊川市では、「主権者の参画」の項目での評価が高く、こども・若者を巻き込む工夫や、オンラインツールの活用などが評価されました。



今後も、菊川市の実情に合わせて変化するより良い議会となるよう取り組んでまいります。

他市議会からの 視察受け入れ

受入実績(7月末時点)

5月12日 滋賀県守山市議会

子育て支援対策特別委員会

員会

7月1日 茨城県牛久市議会

会派うしく未来プロジェクト

ジェフト

7月15日 東京都東村山市議会

厚生委員会



多くの市議会から、視察のお申し込みをいただいております。菊川市までお越しくださった皆さま、ありがとうございました。

きかせてパパママの声

Vol.42

菊川市に住むお父さん
お母さんに聞きました。



3人元気に楽しく育てています。
子育てに優しい菊川市にしてください。

森下 明さん・旭さん

9月定例会の予定 (各日とも午前9時～)

8月	
31日(月)	議案の提案説明
9月	
1日(火)	議案の提案説明 (前日の続き)
7日(月)	一般質問
8日(火)	
10日(木)	質疑・討論・採決・委員会付託
30日(水)	委員長報告・質疑・討論・採決
10月	
1日(木)	予備日

※予定が変更になる場合がありますので、
事前に議会事務局 (35-0941) へご連絡ください。

編集後記

今回は、菊川市の駅伝チーム取材させていただきました。若い選手とコーチ陣が一丸となってチームづくりを進め、毎年レベルアップし続けています。大会当日は市民の皆さまの熱い声援をお願いいたします。

本議会も地域の皆さまや若者の声を届けるべく各地域を回っての議会報告会や高校生への押し掛け議会報告会、こども議会を実施しています。9月定例会では令和7年度の決算審査も行います。議会も一丸となって住みよいまちづくりに向け、活動し続けてまいります。

(編集委員 小林 博文)

【無料】地域住民と自治体をつなぐアプリ「マチイロ」
菊川市議会だより「議会のひろば」も登録しています！



ダウンロードはこちら

マチイロ



あなたもできるこんなこと！



傍 聴

本会議・委員会などを傍聴
できます。開催日に議会事
務局へお越しください。



陳情・請願

特定のことにについて、議会
などに実情を訴え、適切な
措置を要請できます。



市民説明会

委員会審査案件の審査経緯、
結果などについて、説明会
の開催を要求できます。

次回の議会のひろばは

11月発行予定です。

(年4回発行)
お楽しみに！

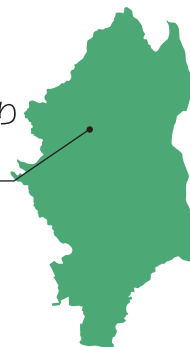


表紙の写真

菊川市の風景を紹介していきます。

菊川駅南商店街本通り
菊川名物夜店市

撮影地：
菊川市堀之内



処分するときは雑がみとして
リサイクルを！

© 菊川市

